



莨町

平成 23 年 11 月 2 日 No.6【学校電話 734-2004】

日常の授業で培ってきた、声の出し方や動作化(しぐさ)心情表現等を生かし、総合的な発表の場である学習発表会で生き生きと表現できた子供たち。係の仕事を協力してやり遂げた力も、これまでの諸活動で積み重ねてきたものです。ご来賓や地域の方々からの温かな拍手を励みに今後も精いっぱい学習に取り組んでほしいと思います。

《努力目標》
○進んで考え、表現する子
○思いやりをもって、協力し合う子
○めあてをもって、健康な体をつくる子

10/22【学習発表会】全プログラムをやり遂げ、笑顔いっぱいの全校児童です。



読書のすすめ

校長 鹿内 裕明

10月22日の学習発表会では、子供たちの一生懸命な姿がとても感動的でした。学習発表会で学んだことがこれからの生活の自信となり、大きく成長してくれることを願っています。

さて、先日、子供たちに読書について話をしました。学校以外で本を読むことの少ない子供たちに本を読むことのよさを家庭でも感じさせたいものです。本校の子供たちは読書の時間は静かに本を読んだり、読み聞かせの時は真剣に話を聞いています。本の大好きな子がたくさんいてとてもいいなあと思っています。読書のよさは保護者の皆さんも知っているとおりの豊かな創造力(感性)を育ててくれるものです。

しかし、大人の「役に立つ読書のすすめ」の考え方を子供におしつけてはいけません。

作家、上野瞭さんは『ネバーランドの発想』の中で次のように述べています。【子供が本を読むということは、何かの「ためになる」からではない。ずっと後に、結果として、そういう働きが出てくる場合があるとしても、もともと本の世界は、まず、「楽しい世界」なのである。毎日、毎日の生活の中で、見失いがちな自由を発見し、人間が自由であることによるこびを知る世界なのである。「ためになる」読書のすすめにもまた別の意味で、子供の自由を束縛するものがある。こうした子供を狭く限定する考え方を否定する形で現代の児童文学はつくられつつある。それは、たとえば、思わず吹きだすような子供のふしぎな体験を描いた山下夕美子の『ごめんねぼっこ』(あかね書房)や現代の親子関係を鋭くえぐった山中恒の『ぼくがぼくであること』(実業之日本社)によくあらわれている。】

このように子供は夢を大きく与えてくれる本との出会いをとおして自分自身を見つめ、大きく成長していきます。秋の静かな一時を親子で本に親しんだらどうでしょうか。



港町町会「明朗クラブ」より雑巾をいただきました。子供たちの学習や清掃のとき、いっぱい活用させていただきます。「明朗クラブ」の皆さん、ありがとうございました。

日	曜	11月 行事予定
1	火	教育相談～2日 読書月間
4	金	代表委員会
5	土	市児童卓球大会
7	月	短縮午前授業 就学時健康診断
9	水	5年ブロードキャスター体験
14	月	4年提案授業・協議会
15	火	不審者対応訓練 5年音読発表
17	木	午前授業
18	金	読み聞かせ会
19	土	5年親子レク
24	木	第2回地域懇談会10:30 定例職員会議
25	金	莨小っ子集会 学区巡回
29	火	浪打中との交流会
30	水	集金日

書く活動

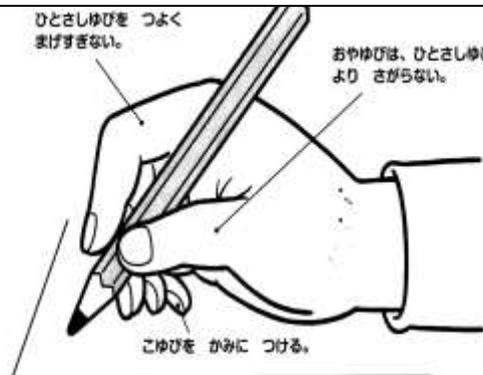
子供の思いや考えは、それを文字で書き表すことでより確かなものとなります。また、考えを振り返ったり、付け足したりしながら学習のまとめを書くことによって思考が整理され、次の学習に生かしていく力も養われます。本校では全学年でノート指導を継続していますが、学年が上がるにつれ、線や図、記号や色分けなど、表現の仕方に工夫が見られます。

さて、1年生が小さな手で鉛筆を握り、文字や数字を一心不乱にノートに書いている姿は、義務教育の始まりとして感動的なものですが、筆記具の持ち方や正しい姿勢が学力にも大きく影響していくといわれます。高学年では、「正しく、字形を整えて」、さらに「書く速さを意識して」という力が求められます。速さを要求されたときに正しくない持ち方では長時間の筆記に耐えられず、集中力を欠くこととなります。また、筆記具の持ち方は、入学時はとても気を配りますが、学年が上がると関心が薄れていくのが普通です。学校でも指導しますが、「習慣だから、癖だから」とあきらめずに家庭学習の時も筆記具の持ち方等、基本に立ち返ってお子さんを励ましてほしいと思います。

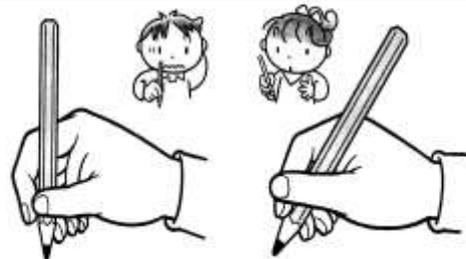
【集中力を高め、上手に文字を書くポイント】

- 1 鉛筆(筆記具)を正しく持つ
- 2 正しい姿勢・正しい位置で書く
- 3 運筆練習を繰り返し行う
- 4 始筆を確かめて書く

鉛筆の持ち方



こんな持ち方をしていませんか。



えんぴつを たてて もっていないかな。

おやゆびが まえに つきでいていないかな。

莨町小学校での 体験入学を終えて

5年 葛西 亜由音

私は学習発表会のとき、「おむすびころりん」でレッツ スタディ イングリッシュをみんなやってくれたかったです。ちょっとはずかしくて練習より大きな声は出せなかったけれど、みんなできっちきめたのでよかったです。ガーナに行ったら、もう日本の学校に通えなくなるので、最後に莨町小学校に一ヶ月間来て、とてもいい経験ができてよかったです。



10/29 PTA会員と「おやじの会」が結集。球根植えやナナカマドの枝の処理等、環境整備にたくさんの方が参加してくださいました。

